

# 相模台小だより

6月号

<http://www.matsudo.ed.jp/sagami-e/>

令和2年6月1日  
松戸市立相模台小学校  
校長 織原 一浩

「学校再開！ 新しい学校のあり方を考えていく」

校長 織原 一浩

6月になりました。雨に濡れた紫陽花の青紫などの色がひととき美しい時期を迎える頃となりました。自然の移り変わりとともに、国の緊急事態宣言が解除され段階的にですが、学校がいよいよ動き始めました。保護者の皆様には、この度の感染拡大防止への対応につきまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。誰もが、この始まりをととても待ち遠しく思っていました。お友だちとの再会をととても楽しみにし、登校できた子どもたちの声が、校舎に響いています。学校の賑わいが戻っていくことになりそうでわくわくします。

とはいっても、新型コロナウイルス感染症に対しては、まだまだ十分に警戒しなければならない中での学校再開です。これまでのような教育活動がそのままできるというわけではありません。3密に注意し、新しい生活様式を意識し、こまめな手洗い・うがいの励行、マスクの着用と換気の徹底、ソーシャルディスタンス・・・というようなガイドラインに沿った教育活動を展開してまいります。

これまでに経験したことがない3か月にも及ぶ休校は、学習面、身体面、精神面で子どもたちにとって大きな影響があったのだろうと、計り知ることはできません。こういった現状の中で失ったものを求め、悔やんでしまいがちです。しかし、人間の持つ適応力に期待し、今あるものやこれからの可能性を大切にしていきたいと考えます。これからの時代に生きていたための新しい生活様式や学習のあり方について前向きに考えていきたいものです。日常を取り戻しつつ、「新しい生活様式」を模索する中で、新たな日常を定着させ、そして持続させなければなりません。保護者の皆様、地域の皆様とより丁寧にコミュニケーションを取って、実践化に努めていきたいと考えます。

梅雨時となりますが今月も本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 教育相談について

6月より通常日課に向けて段階的に学校が再開されます。

学校の再開に伴い、子どもたちは待ち遠しい気持ちとは裏腹に、学習のこと、生活のこと、久しぶりに会う友だちのことなどについて、不安な気持ちも少なからずあると思います。

学習に関する質問・交友関係について等、お子さんからでもご家庭からでも、悩みや相談があれば、職員にお話してください。職員も学年、担当問わず、全校体制で子どもたちを見ていきます。

また、スクールカウンセラーもご利用できます。何かありましたら、まずは担任にお問い合わせください。

※従来通り、対面での相談が可能となりました。また、**相談日の追加\***について、お知らせします。

◆スクールカウンセラー来校予定日◆ 6月9日（火）、23日（火）

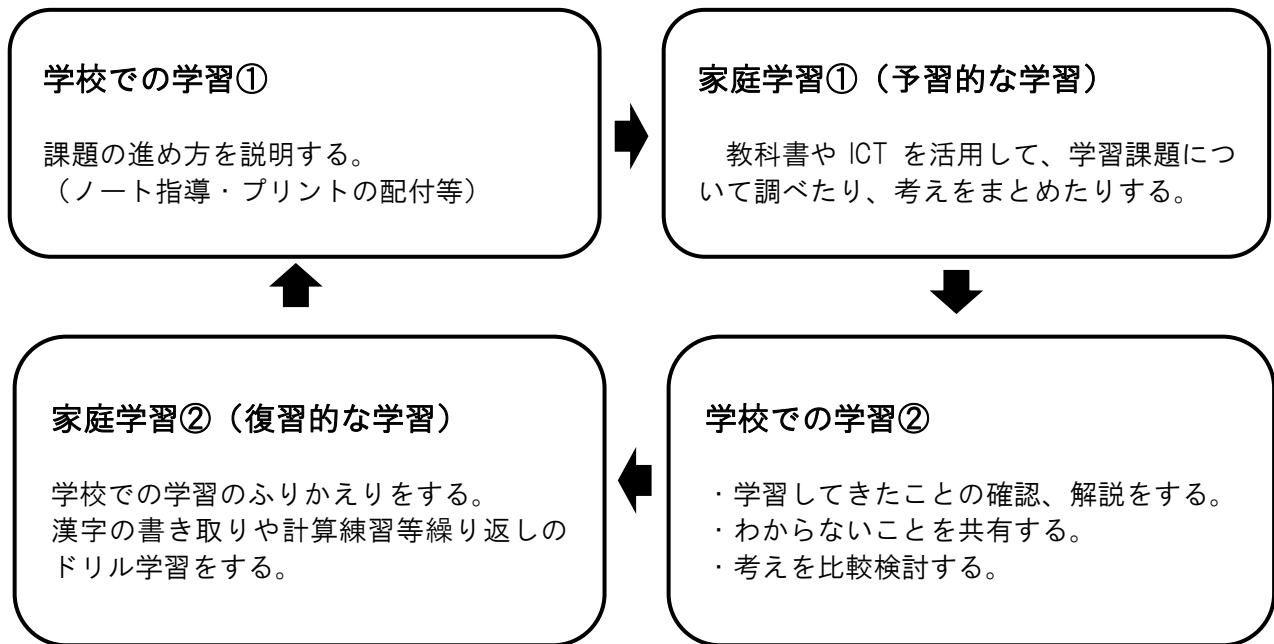
**7月3日（金）\***、14日（火）

## <お知らせとお願い>

### 家庭学習について

6月より段階的に学校が再開されます。しかし、分散登校により十分に学校で授業を受けてもらうことができない状態は続いています。そこで、今後は、新しい家庭学習のサイクルを確立していく必要があると考えます。例えば、教科書やICTを活用し、予習的な学習を家庭で行い、学校で確認や比較検討を行っていくようなサイクルです。予習的課題については、基本は、できる範囲で『自分で考えてみる』ことを主眼に置いております。自分で考えてみて難しいようであれば、そのまま持たせてください。次の授業で説明・指導します。

### <家庭での学習サイクル>



### 部活動について

現時点において、当面の間、部活動は休止いたします。通常の教育活動が行われ、安全に実施できる環境が整った後、段階的に再開していきます。

### 携帯電話の持ち込みについて

学習に必要なものは、学校には持ち込まないこととなっておりますが、児童の安全面等においてご心配があり、持ち込みを希望するご家庭については、担任までご相談ください。